

義理と人情

日本人と聖書 第7回



蒔かれた種は？

- 聖書の教え、メッセージは日本人にどのように伝わり、受け入れられ、あるいは受け入れられなかったのか
- 「切支丹禁制の高札」撤去から130年余り、クリスチャン人口が1%の壁を越えない
- 残念ながら、聖書のメッセージは日本人に受け入れられたとは言い難い
- なぜだろうか？

種が蒔かれた畑

✦ 福音の種が蒔かれた畑、つまり日本人の心とはどのようなものなのか

- 日本人特有の精神性とは

✦ 「義理と人情」

- **義理**: 物事の正しい道筋。また、人の踏み行なうべき道。道理
- **人情**: 人間が自然に備えている情愛。情け。いつくしみ。思いやり。人間らしいやさしさ、思いやりなどのあたたかい心。

義理と人情の板挟み(しがらみ)

- # 一つの出来事に「義理と人情」の両者が対立する時、「板挟み」となる
 - 1960年代に流行った東映のヤクザ映画
 - 尾崎士郎の「人生劇場」(古賀政男)
- # 「義理」も「人情」も大切にする時、身動きのとれない「つらさ」に苦しむ美学
- # かつては演劇や文学、歌謡曲から映画まで大いにもてはやされたテーマである

野崎村

- 歌舞伎の「新版歌祭文」(しんばんうたざいもん)の一の場面／近松半二作
- 恋愛にまつわる義理と人情を描く
 - 百姓の久作とその娘お光、一緒に育った久松
 - 久松と奉公先の大店の娘お染の恋
 - お光と久松を一緒にさせようとする久作
 - 久松とお染の関係を死って苦しむお光
 - 結末は・・・

聖書のメッセージ

- # 聖書の教えは「神・罪・救い」というように何事も割り切ってしまう感じがする
 - 合理的な哲学を土台に
- # 単純なメッセージは言語的には伝わりやすいが、精神的には伝わらない
- # 日本人の心に聖書のメッセージは伝わっていないのではないか

聖書の義理と人情

- 聖書にも「義理と人情の板挟み」が描かれている
- 神の「義」と「愛」である
- ローマ3章23～25節
 - 「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。」

神の義と愛

- # 神は義なる方(義理)であるが、罪深い人間を義によって裁かず、愛によって(人情)お救いになった
- # しかし、愛が義をおおったのではない
- # 神は、義(義理)と愛(人情)の板挟みとなって、苦しまれたのである
- # それが十字架のキリストの姿である

神の義と愛

-
- # 神は、罪深い人
間を救って(人情)
お救いになった
 - # しかし、愛が義
ったのではない
 - # 神は、義(義理)
人情)の板挟みと
なって、苦しま
である
 - # それが十字架
トの姿である